

DP達成度 学生自己評価結果【2020年度】

集計対象 … 2019年度入学生のうち、2回生後期の調査まで対象となっていた学生302名

調査時期 … 各対象学年の7月と12月の計4回

調査方法 … Assessmentorを利用したオンライン調査

〔回答者数、回答率〕

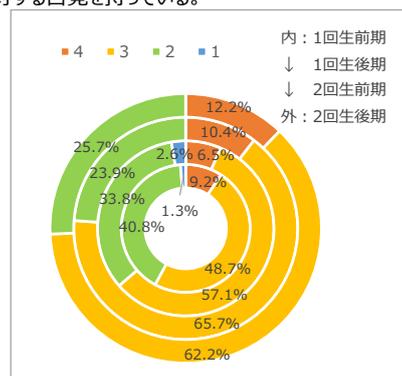
学科	2019年度入学者数	集計対象者数	各調査時期の回答者数と回答率							
			1回生前期		1回生後期		2回生前期		2回生後期	
			数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
ライフデザイン学科	78	78	76	97.4%	77	98.7%	67	85.9%	74	94.9%
食物栄養学科	76	73	71	97.3%	50	68.5%	49	67.1%	58	79.5%
幼児教育学科	158	151	148	98.0%	137	90.7%	142	94.0%	137	90.7%
合計	312	302	295	97.7%	264	87.4%	258	85.4%	269	89.1%

< ライフデザイン学科 >

A 建学の精神

1. 建学の精神である「仏教精神」の意味を深く理解している。豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会的責任に対する自覚を持っている。

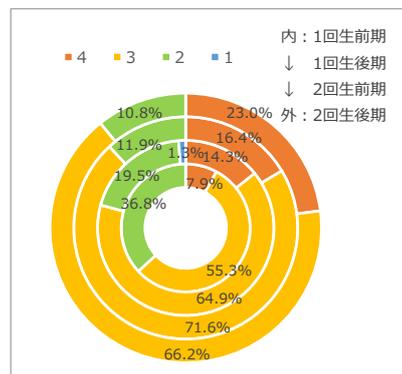
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前期と2回生後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4 本学が実施する仏教行事などに積極的に参加し、建学の精神を体現・実行できている。	7	9.2%	5	6.5%	7	10.4%	9	12.2%	+3.0%
3 本学が実施する仏教行事などに積極的に参加し、建学の精神を理解しようと努めている。	37	48.7%	44	57.1%	44	65.7%	46	62.2%	+13.5%
2 本学が実施する仏教行事などにあまり参加しておらず、建学の精神があまり理解できていない。	31	40.8%	26	33.8%	16	23.9%	19	25.7%	▲15.1%
1 本学が実施する仏教行事などにまったく参加しておらず、建学の精神も理解できていない。	1	1.3%	2	2.6%	0	0.0%	0	0.0%	▲1.3%
合計	76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



B 現代の教養

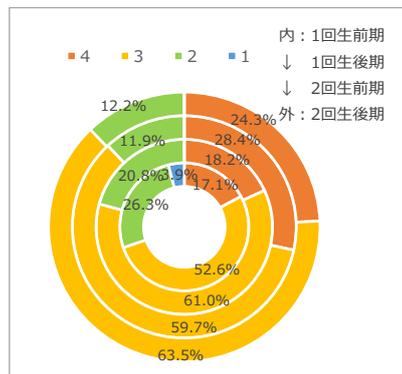
2. 社会の諸問題に対して、身につけた知識と技術に基づいて積極的に解決しようとする姿勢を持つことができる。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前期と2回生後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4 現代社会の諸問題に取り組む姿勢を身につけ、実際に問題を発見し解決しようとしている。	6	7.9%	11	14.3%	11	16.4%	17	23.0%	+15.1%
3 現代社会の諸問題に取り組む姿勢が身についている。	42	55.3%	50	64.9%	48	71.6%	49	66.2%	+11.0%
2 現代社会の諸問題に取り組む姿勢が必ずしも身につけていない。	28	36.8%	15	19.5%	8	11.9%	8	10.8%	▲26.0%
1 現代社会の諸問題に取り組む姿勢が全く身につけていない。	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



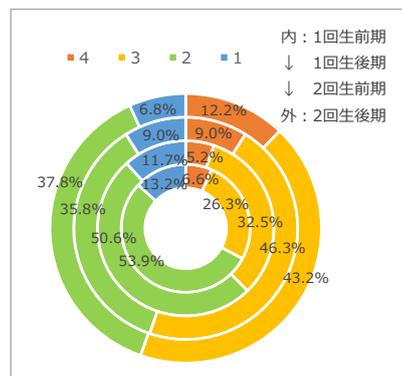
3. 体と心身の健康について、探究心を持って具合的に課題設定ができる。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前期と2回生後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4 体と心の健康について明確な課題を持ち、具体的な取り組みを実行している。	13	17.1%	14	18.2%	19	28.4%	18	24.3%	+7.2%
3 体と心の健康について明確な課題を持っている。	40	52.6%	47	61.0%	40	59.7%	47	63.5%	+10.9%
2 体と心の健康について必ずしも明確な課題を持っていない。	20	26.3%	16	20.8%	8	11.9%	9	12.2%	▲14.2%
1 体と心の健康について全く課題を持っていない。	3	3.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲3.9%
合計	76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



4. 英語を媒介とした知的情報を受信、発信するためのコミュニケーション能力を実現する。

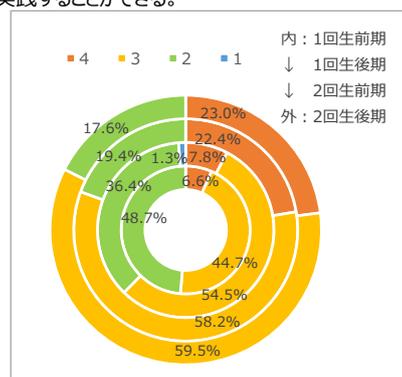
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	英語による知的情報の受信・発信能力が身につく、英語を日常生活の中で積極的に活用している。	5	6.6%	4	5.2%	6	9.0%	9	12.2%	+5.6%
3	英語による知的情報の受信・発信能力が身につく。	20	26.3%	25	32.5%	31	46.3%	32	43.2%	+16.9%
2	英語による知的情報の受信・発信能力が必ずしも身につけていない。	41	53.9%	39	50.6%	24	35.8%	28	37.8%	▲16.1%
1	英語による知的情報の受信・発信能力が全く身につけていない。	10	13.2%	9	11.7%	6	9.0%	5	6.8%	▲6.4%
合計		76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



C キャリア教育

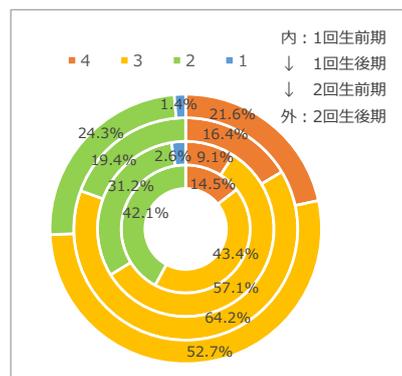
5. 日本語を正確に理解し、論理的に文章を書くと同時に、自らの意見を判りやすく伝達するための方法を習得し、実践することができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	正確な日本語能力を持ち、自らの意見を判りやすく、あらゆる方法を駆使して伝えることができる。	5	6.6%	6	7.8%	15	22.4%	17	23.0%	+16.4%
3	正確な日本語能力を持ち、自らの意見を判りやすく伝えることができる。	34	44.7%	42	54.5%	39	58.2%	44	59.5%	+14.7%
2	正確な日本語能力を持ち、自らの意見をなんとか伝えることができる。	37	48.7%	28	36.4%	13	19.4%	13	17.6%	▲31.1%
1	正確な日本語能力がなく、自らの意見を伝えることができない。	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計		76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



6. 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用するための基礎的な知識と技術を習得する。

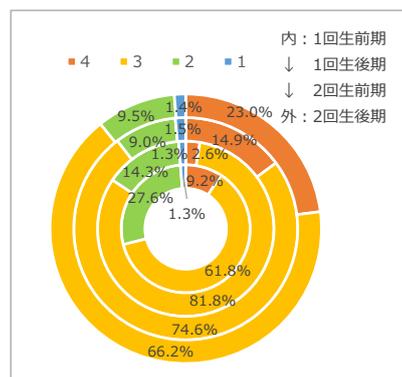
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	より高度な情報収集能力を持ち、活用することができる。	11	14.5%	7	9.1%	11	16.4%	16	21.6%	+7.1%
3	正確な情報収集能力を持ち、活用することができる。	33	43.4%	44	57.1%	43	64.2%	39	52.7%	+9.3%
2	情報収集能力を持ち、なんとか活用することができる。	32	42.1%	24	31.2%	13	19.4%	18	24.3%	▲17.8%
1	情報収集能力がなく、活用することもできない。	0	0.0%	2	2.6%	0	0.0%	1	1.4%	+1.4%
合計		76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



D 知識・理解

7. 生活に必要な知識と企業や社会で求められる知識を身につけている。

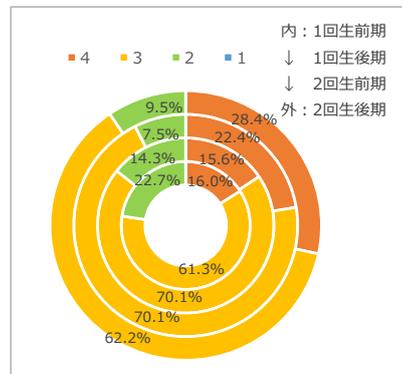
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	生活に必要な知識と企業や社会で求められる知識を身につけており、自らの判断で動くことが可能で、常に明確な意思をもっている。	7	9.2%	2	2.6%	10	14.9%	17	23.0%	+13.8%
3	生活に必要な知識と企業や社会で求められている知識を身につけており、自らの判断で動くことができる。	47	61.8%	63	81.8%	50	74.6%	49	66.2%	+4.4%
2	生活に必要な知識と企業や社会で求められている知識を身につけているが、自らの判断で動けない。	21	27.6%	11	14.3%	6	9.0%	7	9.5%	▲18.2%
1	生活に必要な知識と企業や社会で求められている知識をほとんど身につけていない。	1	1.3%	1	1.3%	1	1.5%	1	1.4%	0.0%
合計		76	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-



1.2. 独創性のある発想ができ、それを実現するための計画を立て、行動することができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	他者の成果を常に発見・理解し、独自の発想や意見を持つことができる。	12	16.0%	12	15.6%	15	22.4%	21	28.4%	+12.4%
3	他者の成果を発見・理解ことができ、多くの意見からひとつを選ぶことができる。	46	61.3%	54	70.1%	47	70.1%	46	62.2%	+0.8%
2	他者の成果を発見・理解することはできるが、独自の意見を持つことができない。	17	22.7%	11	14.3%	5	7.5%	7	9.5%	▲13.2%
1	他者の成果を発見・理解することができず、独自の意見を持つこともできない。	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計		※ 75	100.0%	77	100.0%	67	100.0%	74	100.0%	-

※無回答者1名

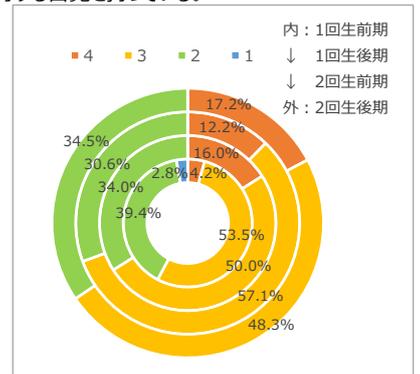


< 食物栄養学科 >

A 建学の精神

1. 建学の精神である「仏教精神」の意味を深く理解している。豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会的責任に対する自覚を持っている。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	4.2%	8	16.0%	6	12.2%	10	17.2%	+13.0%
3	38	53.5%	25	50.0%	28	57.1%	28	48.3%	▲5.2%
2	28	39.4%	17	34.0%	15	30.6%	20	34.5%	▲5.0%
1	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲2.8%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-

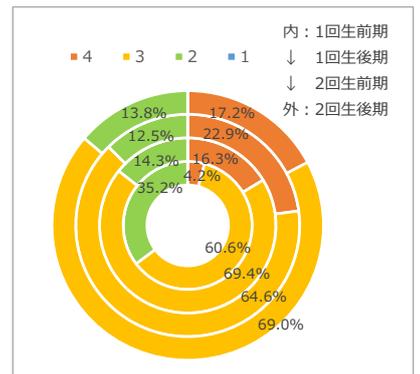


B 現代の教養

2. 社会の諸問題に対して、身につけた知識と技術に基づいて積極的に解決しようとする姿勢を持つことができる。

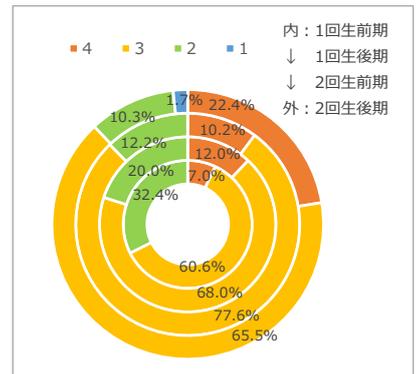
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	4.2%	8	16.3%	11	22.9%	10	17.2%	+13.0%
3	43	60.6%	34	69.4%	31	64.6%	40	69.0%	+8.4%
2	25	35.2%	7	14.3%	6	12.5%	8	13.8%	▲21.4%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	71	100.0%	※49	100.0%	※48	100.0%	58	100.0%	-

※無回答者1名 ※無回答者1名



3. 体と心の健康について、探究心を持って具体的に課題設定ができる。

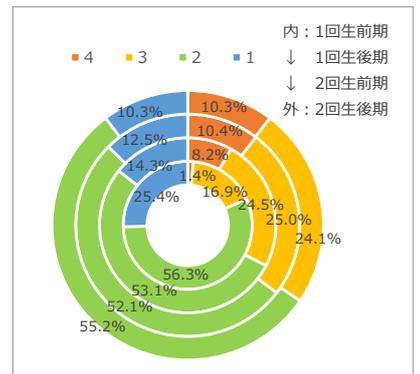
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	5	7.0%	6	12.0%	5	10.2%	13	22.4%	+15.4%
3	43	60.6%	34	68.0%	38	77.6%	38	65.5%	+5.0%
2	23	32.4%	10	20.0%	6	12.2%	6	10.3%	▲22.0%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	+1.7%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-



4. 英語を媒介とした知的情報を受信、発信するためのコミュニケーション能力を実現する。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	1	1.4%	4	8.2%	5	10.4%	6	10.3%	+8.9%
3	12	16.9%	12	24.5%	12	25.0%	14	24.1%	+7.2%
2	40	56.3%	26	53.1%	25	52.1%	32	55.2%	▲1.2%
1	18	25.4%	7	14.3%	6	12.5%	6	10.3%	▲15.0%
合計	71	100.0%	※49	100.0%	※48	100.0%	58	100.0%	-

※無回答者1名 ※無回答者1名

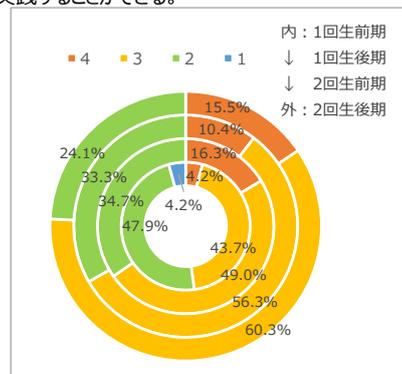


C キャリア教育

5. 日本語を正確に理解し、論理的に文章を書くと同時に、自らの意見を判りやすく伝達するための方法を習得し、実践することができる。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	4.2%	8	16.3%	5	10.4%	9	15.5%	+11.3%
3	31	43.7%	24	49.0%	27	56.3%	35	60.3%	+16.7%
2	34	47.9%	17	34.7%	16	33.3%	14	24.1%	▲23.7%
1	3	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲4.2%
合計	71	100.0%	※49	100.0%	※48	100.0%	58	100.0%	-

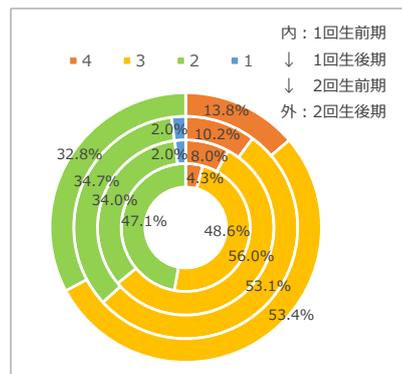
※無回答者1名 ※無回答者1名



6. 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用するための基礎的な知識と技術を習得する。

評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	4.3%	4	8.0%	5	10.2%	8	13.8%	+9.5%
3	34	48.6%	28	56.0%	26	53.1%	31	53.4%	+4.9%
2	33	47.1%	17	34.0%	17	34.7%	19	32.8%	▲14.4%
1	0	0.0%	1	2.0%	1	2.0%	0	0.0%	0.0%
合計	※70	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-

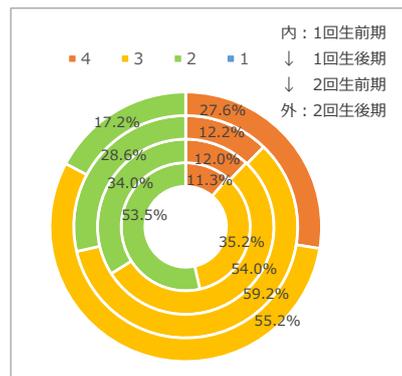
※無回答者1名



D 知識・理解

7. 食と健康に関して幅広い知識が身についている。

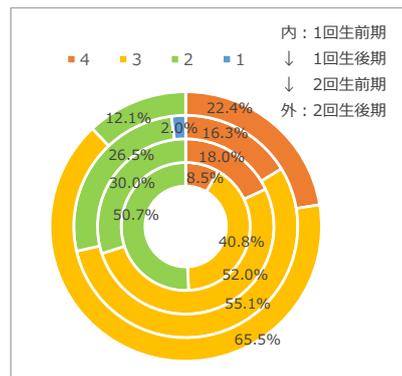
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	8	11.3%	6	12.0%	6	12.2%	16	27.6%	+16.3%
3	25	35.2%	27	54.0%	29	59.2%	32	55.2%	+20.0%
2	38	53.5%	17	34.0%	14	28.6%	10	17.2%	▲36.3%
1	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-



E 技能・表現

8. 健康で安全な食生活を実現するための技能が身についている。

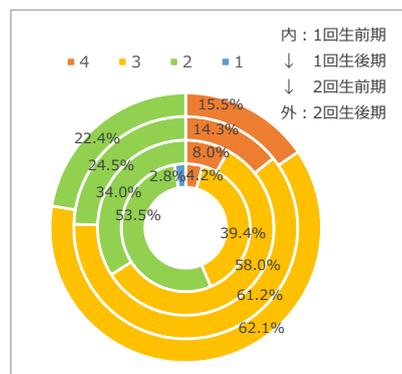
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	6	8.5%	9	18.0%	8	16.3%	13	22.4%	+14.0%
3	29	40.8%	26	52.0%	27	55.1%	38	65.5%	+24.7%
2	36	50.7%	15	30.0%	13	26.5%	7	12.1%	▲38.6%
1	0	0.0%	0	0.0%	1	2.0%	0	0.0%	0.0%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-



F 判断・表現

9. 身につけた知識や技能を活用し、表現することができる。

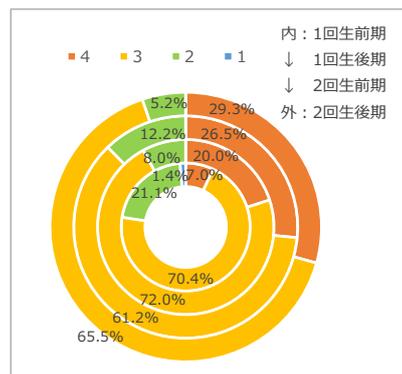
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	4.2%	4	8.0%	7	14.3%	9	15.5%	+11.3%
3	28	39.4%	29	58.0%	30	61.2%	36	62.1%	+22.6%
2	38	53.5%	17	34.0%	12	24.5%	13	22.4%	▲31.1%
1	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲2.8%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-



G 意欲・態度

10. 他者と協力し、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	5	7.0%	10	20.0%	13	26.5%	17	29.3%	+22.3%
3	50	70.4%	36	72.0%	30	61.2%	38	65.5%	▲4.9%
2	15	21.1%	4	8.0%	6	12.2%	3	5.2%	▲16.0%
1	1	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲1.4%
合計	71	100.0%	50	100.0%	49	100.0%	58	100.0%	-

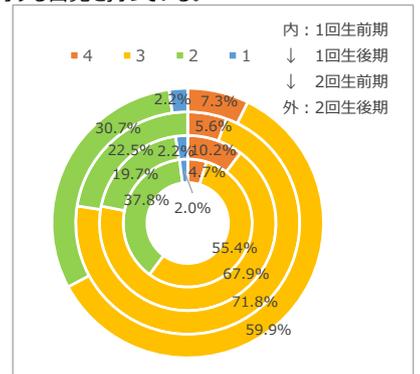


< 幼児教育学科 >

A 建学の精神

1. 建学の精神である「仏教精神」の意味を深く理解している。豊かな人間性と高い倫理観を備え、社会的責任に対する自覚を持っている。

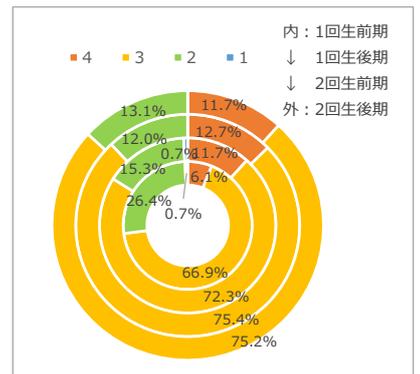
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	7	4.7%	14	10.2%	8	5.6%	10	7.3%	+2.6%
3	82	55.4%	93	67.9%	102	71.8%	82	59.9%	+4.4%
2	56	37.8%	27	19.7%	32	22.5%	42	30.7%	▲7.2%
1	3	2.0%	3	2.2%	0	0.0%	3	2.2%	+0.2%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



B 現代の教養

1. 社会の諸問題に対して、身につけた知識と技術に基づいて積極的に解決しようとする姿勢を持つことができる。

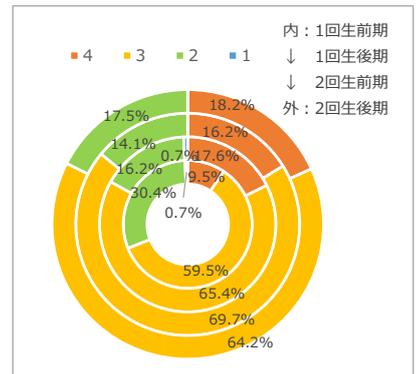
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	9	6.1%	16	11.7%	18	12.7%	16	11.7%	+5.6%
3	99	66.9%	99	72.3%	107	75.4%	103	75.2%	+8.3%
2	39	26.4%	21	15.3%	17	12.0%	18	13.1%	▲13.2%
1	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	▲0.7%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



2. 体とこころの健康について、探究心を持って具合的に課題設定ができる。

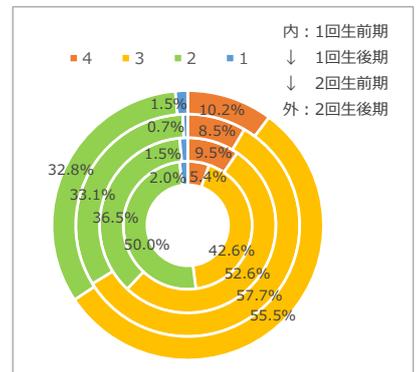
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	14	9.5%	24	17.6%	23	16.2%	25	18.2%	+8.8%
3	88	59.5%	89	65.4%	99	69.7%	88	64.2%	+4.8%
2	45	30.4%	22	16.2%	20	14.1%	24	17.5%	▲12.9%
1	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	▲0.7%
合計	148	100.0%	※ 136	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-

※無回答者1名



3. 英語を媒介とした知的情報を受信、発信するためのコミュニケーション能力を実現する。

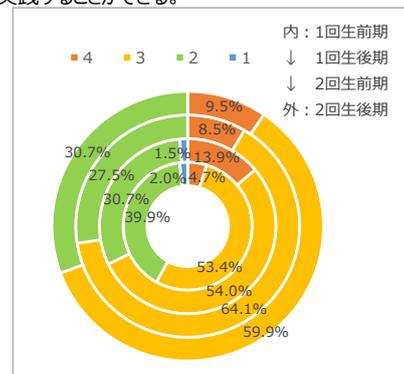
評価値/評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	8	5.4%	13	9.5%	12	8.5%	14	10.2%	+4.8%
3	63	42.6%	72	52.6%	82	57.7%	76	55.5%	+12.9%
2	74	50.0%	50	36.5%	47	33.1%	45	32.8%	▲17.2%
1	3	2.0%	2	1.5%	1	0.7%	2	1.5%	▲0.6%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



C キャリア教育

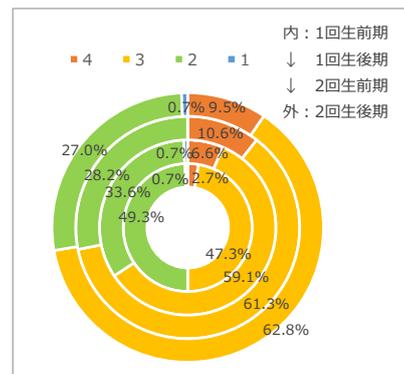
1. 日本語を正確に理解し、論理的に文章を書くと同時に、自らの意見を判りやすく伝達するための方法を習得し、実践することができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	7	4.7%	19	13.9%	12	8.5%	13	9.5%	+4.8%
3	79	53.4%	74	54.0%	91	64.1%	82	59.9%	+6.5%
2	59	39.9%	42	30.7%	39	27.5%	42	30.7%	▲9.2%
1	3	2.0%	2	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	▲2.0%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



2. 情報及び情報手段を主体的に選択し、活用するための基礎的な知識と技術を習得する。

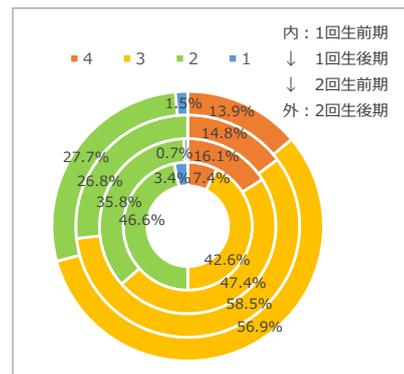
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	4	2.7%	9	6.6%	15	10.6%	13	9.5%	+6.8%
3	70	47.3%	81	59.1%	87	61.3%	86	62.8%	+15.5%
2	73	49.3%	46	33.6%	40	28.2%	37	27.0%	▲22.3%
1	1	0.7%	1	0.7%	0	0.0%	1	0.7%	+0.1%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



D 【知識・理解】保育に関して幅広い知識を身につけている

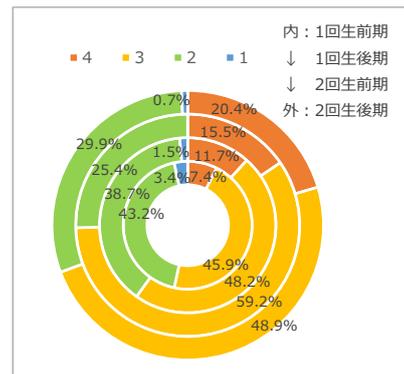
1. 保育・教育の基礎的な知識を習得し、現代の保育者として必要な役割について理解している。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	11	7.4%	22	16.1%	21	14.8%	19	13.9%	+6.4%
3	63	42.6%	65	47.4%	83	58.5%	78	56.9%	+14.4%
2	69	46.6%	49	35.8%	38	26.8%	38	27.7%	▲18.9%
1	5	3.4%	1	0.7%	0	0.0%	2	1.5%	▲1.9%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



2. 子どもの心身の発達および健康と安全に関する知識を習得している。

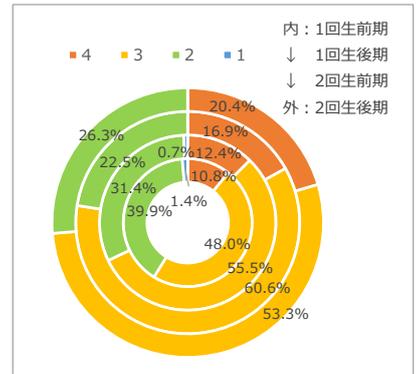
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回 生後 期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	11	7.4%	16	11.7%	22	15.5%	28	20.4%	+13.0%
3	68	45.9%	66	48.2%	84	59.2%	67	48.9%	+3.0%
2	64	43.2%	53	38.7%	36	25.4%	41	29.9%	▲13.3%
1	5	3.4%	2	1.5%	0	0.0%	1	0.7%	▲2.6%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



E 【技術・表現】保育に必要な技術を身につけている

1. 子どもの感性を育む表現活動（音楽・造形・体育・身体表現等）を展開できる基本的な技術を習得している。

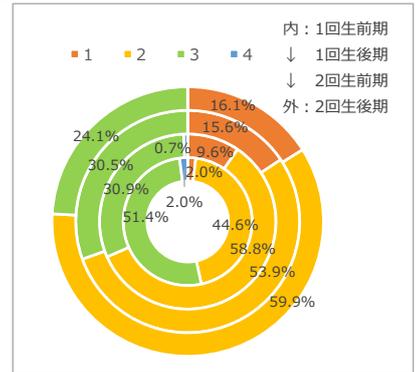
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	16	10.8%	17	12.4%	24	16.9%	28	20.4%	+9.6%
3	71	48.0%	76	55.5%	86	60.6%	73	53.3%	+5.3%
2	59	39.9%	43	31.4%	32	22.5%	36	26.3%	▲13.6%
1	2	1.4%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	▲1.4%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



2. 子どもの生活に即した保育・教育の計画を独力で立案し、実践展開に必要な教材を自ら開発・作成することができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	3	2.0%	13	9.6%	22	15.6%	22	16.1%	+14.0%
3	66	44.6%	80	58.8%	76	53.9%	82	59.9%	+15.3%
2	76	51.4%	42	30.9%	43	30.5%	33	24.1%	▲27.3%
1	3	2.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	▲2.0%
合計	148	100.0%	※ 136	100.0%	※ 141	100.0%	137	100.0%	-

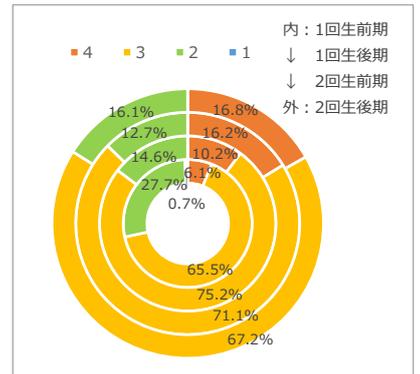
※無回答者1名 ※無回答者1名



F 【判断・表現】身につけた知識や技術を活用しながら判断して、表現することができる

1. 子どもの育ちを記録し、子どもの特性や心身の状況に応じて適切に判断することができる。

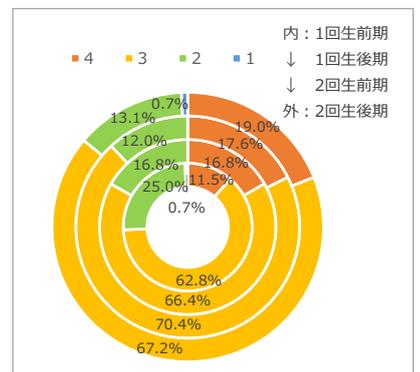
評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	9	6.1%	14	10.2%	23	16.2%	23	16.8%	+10.7%
3	97	65.5%	103	75.2%	101	71.1%	92	67.2%	+1.6%
2	41	27.7%	20	14.6%	18	12.7%	22	16.1%	▲11.6%
1	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	▲0.7%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



G 【意欲・態度】他者と協力し、主体的にさまざまな問題解決に取り組むことができる

1. 他者の意見に耳を傾け、協力して課題に取り組むことができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差
	前期		後期		前期		後期		
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
4	17	11.5%	23	16.8%	25	17.6%	26	19.0%	+7.5%
3	93	62.8%	91	66.4%	100	70.4%	92	67.2%	+4.3%
2	37	25.0%	23	16.8%	17	12.0%	18	13.1%	▲11.9%
1	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	+0.1%
合計	148	100.0%	137	100.0%	142	100.0%	137	100.0%	-



2. 現代の社会的状況やニーズを捉えた上で、自己の課題を認識し、その解決にむけて取り組むことができる。

評価値／評価名	1回生				2回生				1回生前 期と2回生 後期の差	
	前期		後期		前期		後期			
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合		
4	常に自己の課題に意識を向け、解決方法を考えて主体的に行動することができる。	10	6.8%	20	14.7%	26	18.4%	25	18.2%	+11.5%
3	自己の課題に意識を向け、解決のために行動することができる。	109	73.6%	108	79.4%	105	74.5%	101	73.7%	+0.1%
2	自己の課題に関する意識が高まらず、解決方法を探ろうとしていない。	27	18.2%	8	5.9%	10	7.1%	10	7.3%	▲10.9%
1	自己の課題について、明確に意識することができない。	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.7%	▲0.6%
合計		148	100.0%	※ 136	100.0%	※ 141	100.0%	137	100.0%	-

※無回答者1名 ※無回答者1名

